

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 11 日

Table with columns for 事務事業名 (南学校給食センター給食指導事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (030101000408), 所属課 (090301), 政策体系 (0301 学校教育の充実), 事業期間 (単年度繰返し), 予算科目 (011001040301 南学校給食センター事業), 法令根拠.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about school nutrition programs and staff roles.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for school visits and nutrition guidance.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial and personnel costs from 2015 to 2030. Columns include 26年度 (実績), 27年度 (実績), 28年度 (計画), 29年度 (目標), 30年度 (目標), and 期間限定総投入量.

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of business costs) for 27年度 (実績) and 28年度 (予算). Includes a total row (合計) showing 0 for both years.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes implementation details and a note about recording content for each year.

事務事業名	南学校給食センター給食指導事業	事務事業No.	30101000408	所属課	桜川南学校給食セン
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-----------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	<p>・栄養士が学校に向き食育に関する指導の一環として授業に講師として参加したり、食育通信等を発行して啓発活動を行っていたが、平成17年7月15日に「食育基本法」が施行され、学校教育の中で「食育」の位置づけが明確化された。近年、食品の安全性等「食」に対する関心が高まっている。また、食生活の乱れなどが新たな社会問題となっている。さらに、平成23年3月11日の東日本大震災による放射能汚染問題も食の安全を脅かす大きな障壁となっている。</p>
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>・好ましい食生活を実践するには、「食」に関する正しい知識を得ることが大切なので、桜川市の未来を担う子どもたちの健全な育成のためにこれからもこの事業は続けてほしい。</p>
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</p> <p>・桜川市未来プロジェクト・明日を支える人づくりプロジェクトで「食育普及事業」は重点事業とされている。この事業は「食育普及事業」の一環なので結びついている。</p>
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</p> <p>・桜川市の未来を担う子どもたちの健全な育成のための事業なので公共関与は妥当である。</p>
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない</p> <p>・給食指導に関しては毎年新しい情報を積極的に取り入れて指導にあたっているため、現状水準とあるべき水準との差異はない。</p>
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 影響有</p> <p>・栄養のバランスや食物に対する感謝を指導する事業なので、廃止・休止の対象にならない</p>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<p><input checked="" type="checkbox"/> 余地がない</p> <p>現在も食育普及事業、地産地消推進事業で確実な成果を達成するために、主幹課・関係課との連携により学校給食を通じた事業推進を行っているため、今以上の連携は考えられない。</p>
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げるに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない</p> <p>・食育普及事業の一環で実施しており、削減余地がない。</p>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</p> <p>・食育普及事業の一環で、桜川市の次代を担う子どもたちのための事業であり公正・公平である。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>給食指導に関しては毎年新しい情報を積極的に取り入れて指導にあたっているため、現状水準とあるべき水準との差異はない。</p>																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止</p> <p>(複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	<p>成果優先度評価結果 ④</p> <p>コスト削減優先度評価結果 ⑧</p>																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
<p>課長確認後の評価</p> <p><input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止</p> <p><input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出</p>	<p>確認欄 <input type="checkbox"/></p>